



ほね 骨はどうしてあるの

人間が生きて活動していくために必要な骨

ほねは、わたしたちのからだをささえる、大切なはたらきをしています。そして、頭の「頭がい骨」という骨は、大事な脳を守る、ヘルメットのような役目をしており、「骨ばん」という骨は、内臓を守っています。また、骨には体を動かす役目があり、手足などについている筋肉がのび縮みすることによって、曲げたり、のばしたりする運動ができるのです。

ほかに、あばら骨とよばれるろっ骨には、呼吸運動で胸を広げたりせばめたりする役目があるなど、骨には、わたしたち人間が生きて活動していくための、いろいろな役目があります。

ほねのもう一つの大切な役目とは

ほねはじょうぶで軽いものですが、それは、中がスポンジのようになっていて、「骨ずい」とよばれる、やわらかいものが入っているからです。骨ずいは、赤血球や白血球という、血液の大切な成分をつくっているところで、骨は、その大切な部分を守る役目もしているのです。（監修・保志 宏）

